

初級セラピスト養成研修

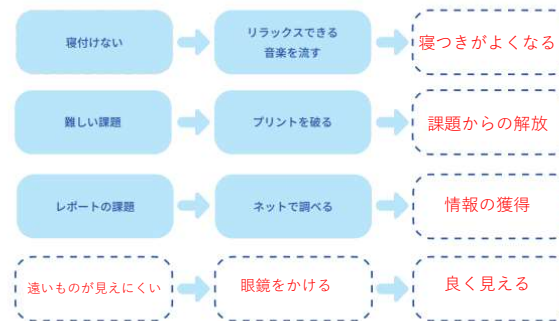
テキストワーク回答例



P16

ワーク

以下の行動はどのような結果があると増えるか記述してみましょう。



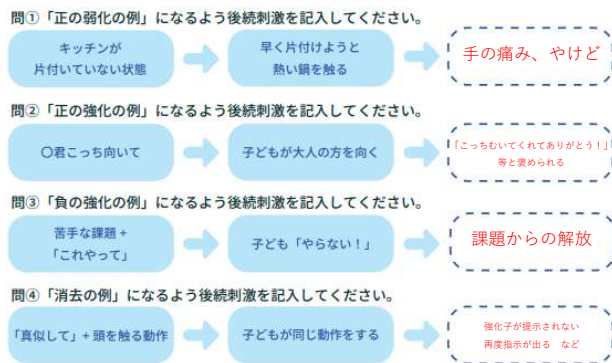
*自身の日常生活における例を1つ考えてみましょう



P22

ワーク

強化と弱化をより理解するために、下記の空欄を埋めてみましょう。



P30

ワーク

事例2についても次ページのストラテジーシートを使って、①～④まで埋めてみましょう

ストラテジーシート 記入日: / / 氏名:

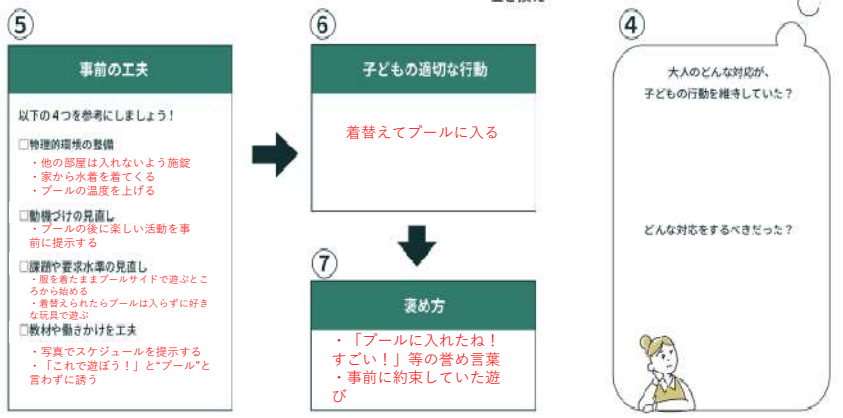
| | | | |
|----------------|---|--------------------------------|--|
| 機能分析 | ② | ① | ③ |
| | A: 行動の前の状況・きっかけ ・プールの時間 ・着替え ・他児がいる ・子どもや先生の声 | B: 子どもの興った行動 「イヤ!!」と言って逃げ出す | C: 行動の後の状況・結果 ・先生が呼ぶ ・他の部屋でしゃがこんで過ごす ・いろんなお部屋を動き回る |
| 対処・適切な行動への置き換え | ⑤ | ⑥ | ④ |
| | 専門の工夫 以下の4つを学習しましょう! □ 教師の情報の転写 □ 動機づけの見直し □ 教材や動きかけを工夫 | 子どもの適切な行動 ⑦ 実め方 | 大人のどんな対応が、子どもの行動を維持していた? ・呼びに行く ・他の教室で過ごせる環境になっている ・行動を繰り返させてしまっている どんな対応をすれば良かった? ・「今日は○をしてみんなを待たせよう」等と指示のもと別の活動で過ごす |



テキストP17～P22、強化・弱化・消去についてよく確認しておきましょう

P36

対処・適切な行動への置き換え



P76

ワーク

以下の随伴性で維持されている子どもの行動について、未然に防ぐためにはどのように対応すればよいでしょうか？
その場での対応と、次回に向けた工夫を考え、枠に記入してください。



P59

ワーク

以下の課題に適したプロンプトを考えてみましょう。

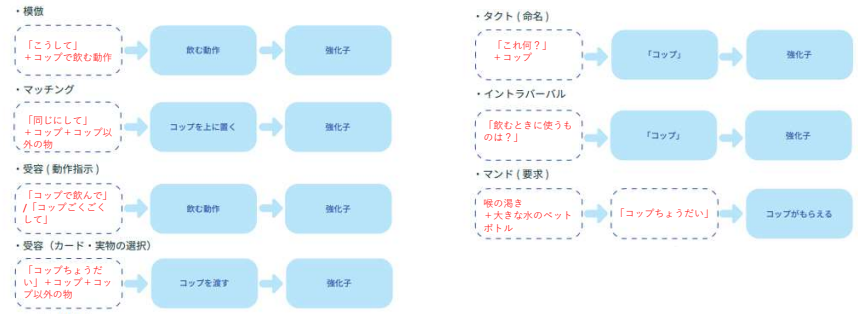
- 模倣**
先行刺激：「こうして」+肩を触る動作
プロンプト：子どもの手を取って肩に誘導（身体）
行動：肩を触る
- 名詞の命名**
先行刺激：「これ何？」+船の絵カード提示
プロンプト：「ふね」と言う（音声）
行動：「ふね」と言う
- 動作の聞き取り**
先行刺激：「肩さわって」
プロンプト：肩を触って見せる（視覚）/子どもの手を取って肩に誘導（身体）
行動：肩を触る
- 名詞の聞き取り**
先行刺激：「船ちょうだい」+船やその他の名詞カード提示
プロンプト：船のカードを前に出す、船のカードを指さす（視覚）/子どもの手を取って船のカードに誘導（身体）
行動：船を選んで手渡す
- 絵カードのマッチング**
先行刺激：「同じにして」+絵カードを渡す（机にも絵カードを複数枚置く）
プロンプト：該当するカードを前に出す、指さす（視覚）/子どもの手を取って該当するカードに誘導（身体）
行動：同じカード同士を重ねる

P89

ワーク

以下の課題について、3項随伴性を示す空欄を埋めてみましょう。

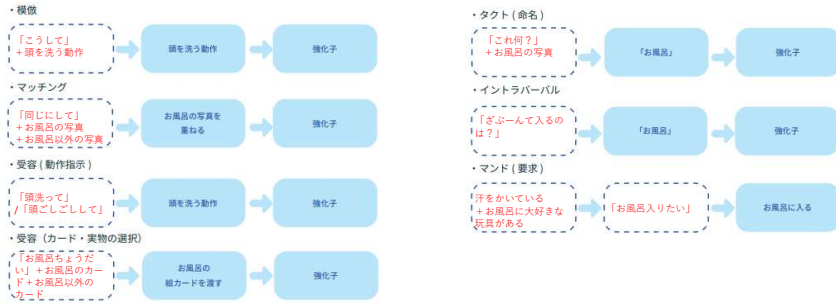
例題① コップ



P90



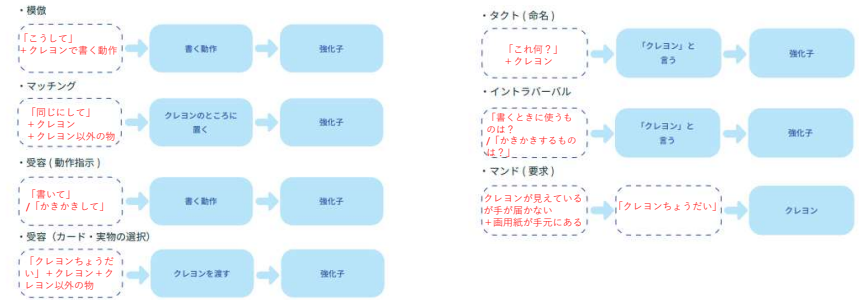
例題② お風呂



P91



例題③ クレヨン



P101

ワーク



以下の文章から報告の練習をしてみましょう

① Aくんはセラピー中に泣き出してしまい、支援中にできた課題がほとんどありませんでした。以下の状況から、保護者の方へ支援中の様子をどのように伝えるか書いてください。

◎状況：トーマスのおもちゃを強化子に、ひらがなの表出の課題を間違えた時に泣き始めた。引き続き音声プロンプトを入れながらひらがなの課題を行うが、やり続けるうちに泣きが強くなった。

他の課題を色々試すも、泣いていることによりすべて無反応となった。強化子を好きなアンパンマンの動画にして、得意な数の課題にすると落ち着いて取り組むことができた。

STEP1：出来た点

「動詞の命名は、トーマスで遊びながら課題を進めることが出来ました。難しかった“〇〇”が、音声プロンプトが無くても言えるようになっていました。数の課題も、前回プロンプトが必要だった10以上の数えあげが、今日は2回も一人で数えられていました」(実施した課題の中でできたことを見つけて報告)

STEP2：難しかった課題や、運用店でうまくいかなかった点

「ひらがなの表出の課題で、私のプロンプトが選れて間違えさせてしまい、それをきっかけに泣いてしまったのですが、強化子をトーマスから大好きなアンパンマンの動画に変え、得意な数の課題に変更するとそのあとは落ち着いて取り組むことが出来ていました。泣いているときは音声プロンプトが有効ではなかったため、次回はエラーレスで進められるようにします。」

STEP3：最後に質問がないか確認する

「何かご質問などはございませんか？」

P102



◎保護者の方から以下の相談を受けました。スーパーバイザーに相談するために情報の聞き取りを行う必要があります。以下のポイントを見て、保護者の方にへの質問を考え、簡潔書きしてみましょう。

◎状況：「最近イヤイヤ期みたいで何でもイヤイヤ言って困っちゃうんですよ。どうしたらいいんですかね？」

ポイント：起きる時の状況 (人・場所・時間)・起きた時の対応・起きた後の子どもの反応・起こる頻度・「いや」が起きていない時の状況

STEP1：行動の聞き取り

なんでもイヤイヤされると、保護者の方も困ってしまいますね、
・イヤイヤ言っているときは何か叩いてしまうとか、他に一緒に出ている行動はありますか？
・頻度はどのくらいですか？毎日ですか？1日に何度もありますか？

STEP2：先行刺激の聞き取り

イヤイヤ言うときの状況を詳しくお伺いしたいのですが、
・どのように声を掛けるときにイヤイヤ言いますか？
・何かで遊んでいたとか、お子さんは何をしている時が多いですか？
・その場には誰がいますか？
・どこでイヤイヤ言うことが多いですか？
・何時ごろが多いですか？ 等

STEP3：後続刺激の聞き取り

・お子さんがイヤイヤ言った時、お父さま母さまはどのように対応されていますか？
・お子さんはイヤイヤ言った後、どのような態度ですか？
・イヤと言った通りにやらなくて済んでいるなどありますか？

STEP4：その他

・お子さんがイヤイヤ言わずに対応できる声掛け、事例はありますか？
・お子さんがイヤイヤ言わずに過ごしているときはありますか？それはどんな時ですか？

P102



③動詞のタクトの課題について保護者の方にフィードバックを行います。以下の状況について、どのように伝えるかを考え書きましょう。

◎状況：動詞のタクト課題「運んでる」を練習し、始めは「何してる？運んでる」と音声プロンプトが必要だったが、連続していくと自発で2回言えるようになった。しかし終わりの時間が近づき、最後に確認すると、自発が難しくプロンプトが必要であった。

「動詞のタクトの課題で、“運んでる”を練習しました。

初めて実施するものだったので、「何してる？運んでる」とすぐに音声プロンプトを入れ進めています。連続して“運んでる”を練習し、徐々にプロンプトも減らしていった所、自発で2回「運んでる」と言うことが出来ました。

その後別の課題を実施し、改めて“運んでる”を実施したところ、自発での正答は難しかったのでプロンプトを入れています。時間が空いたからか、途中で別の課題を実施したことが理由と考えています。同じ状況の時にはプロンプト付きで実施していくとエラーレスで進めることができますので、ご自宅で課題を行う際はしっかりとプロンプトを入れる段階から始めてみてください。」

P102



④ Bくんは、数の課題（指示された個数の積み木を渡す課題）をやっているときに泣き出してしまいました。以下の状況について、保護者の方へどのように伝えるか書いてください。

◎状況：小さい数（2や3）はできたが、大きい数（9や10）の教材を出すと、「やらない」と叫び、離席をしてしまった。その後、セラピストが「粘土で遊ぼう」と誘うと席に座ることができた。

「〇こちょうだい、と言っておはじきを渡してもらう数の課題では、2個・3個は間違えずに出来ましたし、拒否も無かったのですが、9個でやろうと教材を出すと「やらない」と言って離席がありました。しかしその後、粘土に誘うと着席してくれています。

2個や3個がよくできていたので、何度か連続して実施したあとに、いきなりステップを上げて9個もやろうとしてしまったので、抵抗を感じたのかもしれませんが。次に実施するときは連続で実施しないように工夫したり、まずは2個や3個ができたら、次に4個や5個を練習する等、徐々にステップをあげていく方法で練習したいと思います。

P102



④ Bくんは、数の課題（指示された個数の積み木を渡す課題）をやっているときに泣き出してしまいました。以下の状況について、保護者の方へどのように伝えるか書いてください。

◎状況：小さい数（2や3）はできたが、大きい数（9や10）の教材を出すと、「やらない」と叫び、離席をしてしまった。その後、セラピストが「粘土で遊ぼう」と誘うと席に座ることができた。

「〇こちょうだい、と言っておはじきを渡してもらう数の課題では、2個・3個は間違えずに出来ましたし、拒否も無かったのですが、9個でやろうと教材を出すと「やらない」と言って離席がありました。しかしその後、粘土に誘うと着席してくれています。

ターゲットが2個や3個の時は使うおはじきは4、5個ですが、「9個ちょうだい」を練習する時はそれ以上の数を机に置いたので、教材を見た時点で難しい大きい数を聞かれることが分かったのだと思います。少ない数は得意なので、少ない数を聞くときも机には多めにおはじきを置いて、まずは教材が多く出されている環境に慣れてもらえるようにしようと思います。」

(次に実施するときは疲れの出にくい時間帯に実施する、連続で実施しないように工夫する、大好きなおもちゃを用意しておく、などの工夫をお伝えするのもOK)